

# 定期作況報告（最終）

（第7号 令和4年11月20日現在）  
地方独立行政法人北海道立総合研究機構  
農業研究本部 上川農業試験場

## 1. 気象概況

《令和3年（2021年）》

11月：平均気温は1.8℃高く、降水量は平年の138%、日照時間は平年の113%であった。

12月：平均気温は1.3℃高く、降水量は平年の91%、日照時間は平年の117%であった。

《令和4年（2022年）》

1月：平均気温は0.1℃低く、降水量は平年の76%、日照時間は平年の111%であった。

2月：平均気温は0.6℃高く、降水量は平年の72%、日照時間は平年の106%であった。

3月：平均気温は1.2℃高く、降水量は平年の102%、日照時間は平年の58%であった。

4月：平均気温は1.6℃高く、降水量は平年の72%、日照時間は平年の111%であった。

5月：平均気温は0.5℃高く、降水量は平年の152%、日照時間は平年の103%であった。

6月：平均気温は0.6℃低く、降水量は平年の208%、日照時間は平年の100%であった。

7月：平均気温は0.7℃高く、降水量は平年の35%、日照時間は平年の96%であった。

8月：平均気温は0.5℃低く、降水量は平年の132%、日照時間は平年の87%であった。

9月：平均気温は0.1℃高く、降水量は平年の102%、日照時間は平年の120%であった。

10月：平均気温は0.8℃高く、降水量は平年の84%、日照時間は平年の117%であった。

本年の根雪終は4月6日で平年より5日早く、積雪期間は平年より28日短かった。耕鋤始（融雪剤散布圃場）は4月14日で平年より6日早かった（表1）。令和3年11月から令和4年10月までの気象は表2のとおりである。

以上、農耕期間の4～10月についてまとめると、平均気温は8月、9月が平年並で、6月が0.6℃平年より低く、4月が1.6℃、5月が0.5℃、7月が0.7℃、10月が0.8℃平年より高かった。降水量は5月、8月が平年の132～152%と多かったが、4月、6月、7月、10月は平年の32～54%と少なかった。日照時間は5月～7月が平年並で、8月が平年の87%と少なく、4月、9月、10月は平年の111～120%と多かった。5～9月までの積算値は、平年に比べて平均気温が4℃高く、降水量が91mm多く、日照時間が8時間多かった（表3）。

表1 気象表

	初霜 (前年)	降雪始 (前年)	根雪始 (前年)	根雪終 (月日)	積雪期間 (日)	降雪終 (月日)	耕鋤始 (月日)	晩霜 (月日)	初霜 (月日)	降雪始 (月日)
本年	10月19日	10月17日	12月13日	4月6日	115	4月8日	4月14日	未観測	10月13日	11月3日
平年	10月8日	10月27日	11月20日	4月11日	143	4月27日	4月20日	5月14日	10月9日	10月27日
比較	11	△10	23	△5	△28	△19	△6	—	4	7

注1) 本年は2021～2022年の値。

2) 根雪始、根雪終、積雪期間、耕鋤始は比布圃場の観測値。平年は過去10か年の平均値。

3) 初霜、降雪始、降雪終、晩霜は旭川地方気象台による旭川市の観測値。晩霜は2020年から観測中止。初霜、降雪始、降雪終の平年は過去10か年の平均値。晩霜の平年は2011～2020年の平均値。

4) △印は平年に比べて早いあるいは短いことを示す。

年月	旬	平均気温 (°C)			最高気温 (°C)			最低気温 (°C)			降水量 (mm)			降水日数 (日)			日照時間 (hrs)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
2021年	上旬	6.3	5.0	1.3	11.3	9.2	2.1	2.1	1.1	1.0	50.5	30.7	▲19.8	7.0	5.3	1.7	28.0	23.5	4.5
	中旬	4.4	1.6	2.8	8.0	5.5	2.5	0.8	-2.2	3.0	31.0	37.9	▲6.9	7.0	6.2	0.8	24.9	19.4	5.5
	下旬	0.0	-1.4	1.4	3.6	1.9	1.7	-3.9	-5.1	1.2	54.0	29.6	24.4	8.0	7.0	1.0	15.4	17.5	▲2.1
	平均または合計	3.6	1.7	1.8	7.6	5.5	2.1	-0.3	-2.1	1.7	135.5	98.2	37.3	22.0	18.5	3.5	68.3	60.4	7.9
	上旬	-0.1	-3.5	3.4	4.0	-0.5	4.5	-4.4	-7.5	3.1	20.0	31.9	▲11.9	4.0	7.0	▲3.0	29.3	14.4	14.9
	中旬	-3.0	-4.9	1.9	-0.2	-1.5	1.3	-6.2	-9.5	3.3	26.0	22.5	3.5	8.0	6.9	1.1	6.2	16.3	▲10.1
	下旬	-7.9	-6.5	▲1.4	-4.5	-3.0	▲1.5	-13.0	-11.0	▲2.0	25.5	24.5	1.0	9.0	8.4	0.6	19.8	16.4	3.4
	平均または合計	-3.7	-5.0	1.3	-0.2	-1.7	1.4	-7.9	-9.3	1.5	71.5	78.9	▲7.4	21.0	22.3	▲1.3	55.3	47.1	8.2
2022年	上旬	-11.3	-7.6	▲3.7	-6.1	-4.0	▲2.1	-18.6	-12.7	▲5.9	10.0	17.3	▲7.3	5.0	5.7	▲0.7	29.5	16.4	13.1
	中旬	-5.2	-9.6	4.4	-1.6	-5.3	3.7	-9.9	-15.1	5.2	14.0	12.3	1.7	5.0	3.9	1.1	18.8	26.0	▲7.2
	下旬	-9.4	-8.3	▲1.1	-4.4	-3.9	▲0.5	-15.8	-14.0	▲1.8	8.5	13.0	▲4.5	4.0	5.6	▲1.6	34.2	31.6	2.6
	平均または合計	-8.6	-8.5	▲0.1	-4.0	-4.4	0.4	-14.8	-13.9	▲0.8	32.5	42.6	▲10.1	14.0	15.2	▲1.2	82.5	74.0	8.5
	上旬	-7.9	-9.0	1.1	-2.9	-4.5	1.6	-14.1	-15.0	0.9	6.5	11.7	▲5.2	5.0	4.7	0.3	29.2	29.3	▲0.1
	中旬	-8.4	-6.0	▲2.4	-2.7	-2.0	▲0.7	-14.3	-10.8	▲3.5	8.0	17.2	▲9.2	2.0	5.4	▲3.4	52.8	28.6	24.2
	下旬	-3.5	-6.5	3.0	-0.6	-1.4	0.8	-8.3	-12.8	4.5	13.5	10.1	3.4	6.0	3.7	2.3	13.1	32.1	▲19.0
	平均または合計	-6.6	-7.2	0.6	-2.1	-2.6	0.6	-12.2	-12.9	0.6	28.0	39.0	▲11.0	13.0	13.8	▲0.8	95.1	90.0	5.1
	上旬	-2.9	-3.8	0.9	1.6	0.9	0.7	-9.4	-9.5	0.1	16.0	19.1	▲3.1	7.0	4.7	2.3	31.5	39.7	▲8.2
	中旬	-0.2	-1.7	1.5	3.9	3.2	0.7	-4.1	-7.6	3.5	9.5	15.0	▲5.5	4.0	3.9	0.1	21.2	49.2	▲28.0
	下旬	1.4	0.1	1.3	5.7	5.4	0.3	-3.7	-5.6	1.9	20.5	11.0	9.5	6.0	4.5	1.5	34.7	61.9	▲27.2
	平均または合計	-0.6	-1.8	1.2	3.7	3.2	0.6	-5.7	-7.6	1.8	46.0	45.1	0.9	17.0	13.1	3.9	87.4	150.8	▲63.4
	上旬	3.9	2.0	1.9	9.5	6.7	2.8	-2.2	-3.2	1.0	3.0	19.4	▲16.4	3.0	4.4	▲1.4	60.8	54.0	6.8
	中旬	5.8	4.5	1.3	12.7	10.2	2.5	-0.6	-1.0	0.4	27.5	12.5	15.0	3.0	4.1	▲1.1	62.6	60.5	2.1
	下旬	9.4	7.7	1.7	16.2	14.4	1.8	0.5	1.1	▲0.6	0.5	11.2	▲10.7	1.0	3.4	▲2.4	79.9	69.1	10.8
	平均または合計	6.4	4.7	1.6	12.8	10.4	2.4	-0.8	-1.0	0.3	31.0	43.1	▲12.1	7.0	11.9	▲4.9	203.3	183.6	19.7
	上旬	9.7	10.2	▲0.5	15.9	16.4	▲0.5	3.0	4.3	▲1.3	59.0	21.9	37.1	5.0	4.5	0.5	57.7	55.6	2.1
	中旬	13.9	12.0	1.9	20.5	18.3	2.2	7.3	6.2	1.1	15.0	22.6	▲7.6	4.0	3.5	0.5	71.0	62.7	8.3
	下旬	15.1	14.9	0.2	21.6	21.2	0.4	9.8	8.9	0.9	30.5	24.4	6.1	5.0	4.1	0.9	72.2	77.4	▲5.2
	平均または合計	12.9	12.4	0.5	19.3	18.6	0.7	6.7	6.5	0.2	104.5	68.9	35.6	14.0	12.1	1.9	200.9	195.7	5.2
	上旬	12.0	15.9	▲3.9	19.4	22.3	▲2.9	6.5	10.2	▲3.7	17.0	18.5	▲1.5	2.0	3.5	▲1.5	92.7	66.1	26.6
	中旬	16.9	16.6	0.3	22.5	22.2	0.3	12.2	11.9	0.3	41.0	32.7	8.3	6.0	4.2	1.8	50.5	54.2	▲3.7
	下旬	19.3	17.5	1.8	23.9	23.2	0.7	15.2	12.6	2.6	91.0	20.4	70.6	6.0	3.5	2.5	36.3	59.4	▲23.1
	平均または合計	16.1	16.7	▲0.6	21.9	22.6	▲0.6	11.3	11.6	▲0.3	149.0	71.6	77.4	14.0	11.2	2.8	179.5	179.7	▲0.2
	上旬	23.1	19.8	3.3	29.6	25.3	4.3	18.4	15.3	3.1	3.0	50.2	▲47.2	2.0	3.9	▲1.9	67.7	56.9	10.8
	中旬	21.4	21.1	0.3	28.0	27.1	0.9	17.1	16.3	0.8	39.0	22.2	16.8	7.0	3.2	3.8	45.6	70.1	▲24.5
	下旬	21.3	22.9	▲1.6	27.3	28.7	▲1.4	16.5	18.2	▲1.7	3.5	58.9	▲55.4	2.0	3.4	▲1.4	75.9	69.4	6.5
	平均または合計	21.9	21.3	0.7	28.3	27.0	1.3	17.3	16.6	0.7	45.5	131.3	▲85.8	11.0	10.5	0.5	189.2	196.4	▲7.2
	上旬	21.4	22.1	▲0.7	27.1	28.0	▲0.9	17.4	17.5	▲0.1	152.5	62.5	90.0	5.0	3.8	1.2	44.3	61.1	▲16.8
	中旬	20.7	20.6	0.1	25.9	25.7	0.2	16.4	16.4	0.0	80.0	78.4	1.6	5.0	5.3	▲0.3	47.9	45.0	2.9
	下旬	18.8	19.6	▲0.8	24.4	25.3	▲0.9	13.8	15.0	▲1.2	23.0	52.5	▲29.5	5.0	5.5	▲0.5	49.2	57.1	▲7.9
	平均または合計	20.3	20.8	▲0.5	25.8	26.3	▲0.5	15.9	16.3	▲0.4	255.5	193.4	62.1	15.0	14.6	0.4	141.4	163.2	▲21.8
	上旬	18.3	19.0	▲0.7	25.2	24.9	0.3	11.6	14.0	▲2.4	3.5	38.8	▲35.3	1.0	4.3	▲3.3	80.0	55.3	24.7
	中旬	16.5	15.8	0.7	23.0	21.6	1.4	10.5	10.8	▲0.3	83.5	46.5	37.0	4.0	4.5	▲0.5	44.2	46.8	▲2.6
	下旬	14.3	14.0	0.3	21.7	20.4	1.3	8.5	8.5	0.0	29.0	28.8	0.2	2.0	4.1	▲2.1	64.1	54.2	9.9
	平均または合計	16.4	16.3	0.1	23.3	22.3	1.0	10.2	11.1	▲0.9	116.0	114.1	1.9	7.0	12.9	▲5.9	188.3	156.3	32.0
	上旬	11.3	11.6	▲0.3	16.8	17.2	▲0.4	6.3	6.6	▲0.3	57.5	39.6	17.9	3.0	5.2	▲2.2	45.5	42.8	2.7
	中旬	10.0	8.2	1.8	15.9	13.6	2.3	5.4	3.1	2.3	27.5	40.6	▲13.1	6.0	6.1	▲0.1	44.1	39.7	4.4
	下旬	7.3	6.3	1.0	13.2	11.6	1.6	1.6	1.8	▲0.2	17.5	42.0	▲24.5	4.0	5.9	▲1.9	52.5	38.7	13.8
	平均または合計	9.5	8.7	0.8	15.3	14.1	1.2	4.4	3.8	0.6	102.5	122.2	▲19.7	13.0	17.2	▲4.2	142.1	121.2	20.9

注1) 比布アメダス観測値。平年は過去10ヶ年の平均値。

2) ▲印は平年に比べて低または減を示す。

表3 農耕期間積算値 (5月～9月)

期間		平均気温	降水量	降水日数	日照時間
		(°C)	(mm)	(日)	(hr)
5月上旬 ～ 9月下旬	本年	2,682	671	61	899
	平年	2,678	579	61	891
	比較	4	91	▲0	8

注1) 比布アメダス観測値。平年は過去10ヶ年の平均値。

2) ▲印は平年に比べて低または減を示す。

## 2. 作 況

### 1) 水稻 平年並

事由：播種は平年より5日遅い4月20日に行った。出芽の揃いは良好であった。移植は平年より1日遅い5月20日に行った。移植時の草丈は平年より1.5～1.7cm短く、第1葉鞘高は0.2cm短かった。葉数と茎数は平年並であった。苗100本当たりの地上部乾物重は平年より0.43～0.52g軽かったが、苗の充実度を示す地上部乾物重/草丈は平年並であった。

移植後の活着は順調であったが、5月下旬から6月上旬にかけての低温により生育は停滞した。6月中旬の気温は平年並に推移し、生育は回復した。6月20日時点の草丈は平年より2.0～3.3cm低かったが、 $m^2$ 当たりの茎数は9～28%多く、主稈葉数は0.1～0.3枚多かった。

6月下旬から7月上旬にかけて高温に推移したことから、生育は進んだ。幼穂形成期は平年と比べ同等から1日早く、止葉期と出穂期はいずれも2～3日早かった。茎数は「ななつぼし」で平年より3%多く、「ゆめぴりか」で6%少なかった。草丈は平年より10.1～10.3cm長く、主稈の止葉葉数は0.5～0.7枚多かった。

7月下旬は低温で経過し、穂揃日数は平年より2日長かった。稈長は平年より3.9～5.7cm長く、穂長は0.8～1.0cm長かった。 $m^2$ 当たり穂数は「ななつぼし」で2%多く、「ゆめぴりか」で6%少なかった。

登熟期間を通じて平年並の日照時間が得られたことから、登熟は順調に進んだ。成熟期は平年より3～4日早く、登熟日数は平年並であった。稔実歩合は平年より1.4～2.4ポイント高かったが、一穂粒数は12～14%少なく、 $m^2$ 当たり稔実粒数は9～16%少なかった。登熟歩合は平年より2.6～4.2ポイント高かった。

精粒重は平年比97～98%であった。屑米歩合は平年より0～2.7ポイント高く、精玄米千粒重は0.7～1.3g重かった。精玄米重は「ななつぼし」が686kg/10a、「ゆめぴりか」が622kg/10aで、各々平年比100%と98%であった。玄米の検査等級は「ななつぼし」では1等で平年よりやや優れ、「ゆめぴりか」では1等で優れた。

これらのことから、本年の作況は「平年並」である。

表4 水稻の生育および収量

品種名		ななつぼし			ゆめびりか		
項目 / 年次		本年	平年	比較	本年	平年	比較
生育期節	播種期 (月.日)	4.20	4.15	5	4.20	4.15	5
	移植期 (月.日)	5.20	5.19	1	5.20	5.19	1
	幼穂形成期 (月.日)	6.23	6.24	△1	6.24	6.24	0
	止葉期 (月.日)	7.10	7.12	△2	7.10	7.13	△3
	出穂期 (月.日)	7.20	7.22	△2	7.19	7.22	△3
	成熟期 (月.日)	9.05	9.09	△4	9.06	9.09	△3
	穂揃日数 (日)	10	8	2	10	8	2
	登熟日数 (日)	47	49	▲2	49	49	0
	生育日数 (日)	138	147	▲9	139	147	▲8
移植時	草丈 (cm)	12.4	14.1	▲1.7	12.6	14.1	▲1.5
	葉数 (枚)	4.0	4.1	▲0.1	4.2	4.2	0.0
	茎数 (本)	1.9	1.9	0.0	2.0	2.0	0.0
	第1葉鞘高 (cm)	2.2	2.4	▲0.2	2.3	2.5	▲0.2
	地上部乾物重 (g/100本)	4.02	4.54	▲0.52	4.11	4.54	▲0.43
	地上部乾物重/草丈	0.33	0.32	0.01	0.33	0.32	0.01
	葉数 (枚)	6月20日 7月20日 止葉葉数	8.2 10.8 10.8	7.9 10.1 10.1	0.3 0.7 0.7	8.4 11.0 11.0	8.3 10.5 10.5
茎数 (本/m <sup>2</sup> )	6月20日 7月20日	643 745	501 723	142 22	633 806	579 861	54 ▲55
草丈 (cm)	6月20日 7月20日	36.7 89.7	38.7 79.6	▲2.0 10.1	33.4 88.9	36.7 78.6	▲3.3 10.3
成熟期	稈長 (cm)	74.4	68.7	5.7	69.5	65.6	3.9
	穂長 (cm)	17.6	16.6	1.0	17.4	16.6	0.8
	穂数 (本/m <sup>2</sup> )	691	680	11	756	802	▲46
収量構成要素	一穂粒数 (粒)	46.1	52.5	▲6.4	38.4	44.6	▲6.2
	m <sup>2</sup> 当たり粒数 (×千)	31.9	35.6	▲3.7	29.1	35.7	▲6.6
	稔実歩合 (%)	96.2	94.8	1.4	94.3	91.9	2.4
	m <sup>2</sup> 当たり稔実粒数 (×千)	30.7	33.7	▲3.0	27.4	32.8	▲5.4
	同上記 (%)	91	100	▲9	84	100	▲16
	登熟歩合 (%)	89.6	87.0	2.6	86.7	82.5	4.2
	粒摺歩合 (%)	81.0	80.3	0.7	77.1	78.7	▲1.6
	屑米歩合 (%)	2.4	2.4	0.0	5.9	3.2	2.7
	精玄米千粒重 (g)	22.8	22.1	0.7	23.7	22.4	1.3
収量	藁重 (kg/10a)	735	633	102	703	607	96
	精粒重 (kg/10a)	832	854	▲22	794	808	▲14
	精玄米重 (kg/10a)	686	688	▲2	622	636	▲14
	収量平年比 (%)	100	100	0	98	100	▲2
	検査等級 (等)	1	1下	-	1	2中	-

注1) 平年値は前7カ年の中、令和元年(最凶年)、平成29年(最豊年)を除く5カ年の平均値。

2) △は平年より“早”、▲は平年より“減”を示す。

3) 育苗耕種概要 育苗様式：成苗ポット苗

施肥：成苗培土Hを約1.43 (kg/箱) 充填、  
成分量 N 0.5、P<sub>2</sub>O<sub>5</sub> 1.0、K<sub>2</sub>O 0.8、MgO 0.2 (g/箱)、  
置床 N 25.0、P<sub>2</sub>O<sub>5</sub> 0.0、K<sub>2</sub>O 10.0 (g/m<sup>2</sup>)

4) 本田耕種概要 栽植密度：25.3株/m<sup>2</sup> (33.0cm×12.0cm)、3本植

施肥量：N 8.0、P<sub>2</sub>O<sub>5</sub> 9.7、K<sub>2</sub>O 6.9 (kg/10a)、堆肥 0 (kg/10a)

5) 精玄米千粒重および精玄米重：網目1.90mm以上、水分15%換算。

2) 秋まき小麦 (R3年播種) 平年並

事由：播種は平年より1日遅い9月16日に行った。出芽期は平年より3日早い9月22日であった。出芽後の気温、降水量、日照時間は概ね平年並であった。草丈は長く、葉数および茎数は平年並であった。

根雪始は平年より23日遅く、根雪終は平年より5日早く、積雪期間は平年より28日短い115日であった。越冬後の雪腐病発病度は平年より低く、越冬茎歩合は高かった。草丈は平年より長く、茎数は平年より多かった。

出穂期は平年より1日早い6月3日であった。草丈は平年並で、茎数は平年より多かった。

7月上旬の気温が平年より高く推移したため、成熟期は平年より3日早い7月14日であった。成熟期の稈長は平年並、穂長はやや短く、穂数は平年並であった。子実重は平年比95%であったが、容積重、千粒重、蛋白質含有率は平年並であった。検査等級は1等であった。

したがって、本年の作況は「平年並」である。

表5 秋まき小麦の生育および収量

品 種 名 項 目 / 年次		きたほなみ		
		本 年	平 年	比 較
播種期 (月・日)		9.16	9.15	1
出芽期 (月・日)		9.22	9.25	△ 3
出穂期 (月・日)		6.03	6.04	△ 1
成熟期 (月・日)		7.14	7.17	△ 3
越冬茎歩合 (%)		131.4	106.9	24.5
雪腐病発病度		5.6	16.8	▲ 11.2
葉数(枚)	令 3年10月20日	4.5	4.5	0.0
草丈 (cm)	令 3年10月20日	20.4	17.9	2.5
	令 4年 5月20日	46.7	41.9	4.8
	令 4年 6月20日	89.2	88.2	1.0
茎数 (本/m <sup>2</sup> )	令 3年10月20日	766	774	▲ 8
	令 4年 5月20日	1149	1006	143
	令 4年 6月20日	688	577	111
成熟期	稈長 (cm)	80	78	2
	穂長 (cm)	8.0	8.6	▲ 0.6
	穂数(本/m <sup>2</sup> )	497	497	0
子実重 (kg/10a)		530	560	▲ 30
同上平年比 (%)		95	100	▲ 5
容積重 (g/L)		837	842	▲ 5
千粒重 (g)		41.9	42.7	▲ 0.8
蛋白質含有率 (%)		9.0	9.1	▲ 0.1
検査等級 (等)		1等	1等	-

注1) 平年値は前7か年中、平成27年(最豊年)、平成30年(最凶年、収穫年度)を除く5か年の平均値

2) △は平年より早を、▲は平年より“減”を示す。

2) 春まき小麦 不良

事由：播種は平年より3日早い4月15日に行った。播種後の気温は平年よりやや高めに経過したものの降水量がやや少なかったことから、出芽期は平年より3日早い4月29日であった。

5月の気象は平年並であったものの、6月上中旬は低温傾向で経過したことから、出穂期は平年並となった。一方、6月下旬は寡照となり、茎の無効化が進んだ。稈長および穂長は平年並であるが、穂数は平年の77%であった。

成熟期は平年より8日早かった。出穂期は平年並であったため登熟期間は平年より8日短かった。穂数が少なく登熟期間が短かったことから、子実重は平年比78%と低収で、千粒重および蛋白質含有率は平年をやや下回った。容積重は平年並で、検査等級は1等であった。

したがって、本年の作況は「不良」である。

表6 春まき小麦の生育および収量

品 種 名		春よ恋		
項 目 / 年次		本 年	平 年	比 較
播種期	(月.日)	4.15	4.18	△ 3
出芽期	(月.日)	4.29	5.02	△ 3
出穂期	(月.日)	6.18	6.18	0
成熟期	(月.日)	7.22	7.30	△ 8
草丈 (cm)	5月20日	26.5	22.2	4.3
	6月20日	87.1	82.0	5.1
茎数 (本/m <sup>2</sup> )	5月20日	744	714	30
	6月20日	757	752	5
成 熟 期	稈長 (cm)	100	96	4
	穂長 (cm)	8.5	8.6	▲ 0.1
	穂数 (本/m <sup>2</sup> )	405	527	▲ 122
子実重	(kg/10a)	378	487	▲ 109
同上	平年比 (%)	78	100	▲ 22
容積重	(g/L)	828	825	3
千粒重	(g)	38.7	39.9	▲ 1.2
蛋白質含有率	(%)	10.8	11.8	▲ 1.0
検査等級	(等)	1	2上	-

注1) 平年値は前7か年中、平成28年(最豊年)、令和3年(最凶年)を除く5か年の平均値。

2) △は平年より“早”、▲は平年より“減”を示す。

4) 大豆 やや良

事由：播種後に適度な降雨があったことから出芽期は平年より5日早い5月28日であった。6月20日時点の主茎長および主茎節数は平年並であった。その後の生育も順調に経過したことから、開花期は平年より4日早い7月9日であった。開花期の主茎長は平年に比べ長く、主茎節数は多く、分枝数はやや多かった。

8月上旬の降雨により、試験区の一部が倒伏した。生育が平年より早く推移したこと、また9月上旬に晴天が続いたことから、成熟期は平年より6日早い9月13日であった。成熟期の主茎長および主茎節数は平年よりやや上回っており、分枝数は平年並で、着莢数は平年比116%と多かった。子実重は432kg/10aで平年比107%と平年よりやや多かった。百粒重は32.1gと平年より軽く、屑粒率は1.5%と平年並だった。検査等級は2等中であった。

したがって、本年の作況は「やや良」である。

表7 大豆の生育および収量

品 種 名		ユキホマレ		
項 目 / 年 次		本年	平年	比較
播種期 (月.日)		5.18	5.19	△ 1
出芽期 (月.日)		5.28	6.02	△ 5
開花期 (月.日)		7.09	7.13	△ 4
成熟期 (月.日)		9.13	9.19	△ 6
主茎長 (cm)	6月20日	13.2	12.6	0.6
	7月20日	61.5	53.3	8.2
	8月20日	60.1	59.2	0.9
	9月20日	62.3	58.2	4.1
	成熟期	62.3	58.2	4.1
主茎節数 (節)	6月20日	4.0	3.6	0.4
	7月20日	10.9	9.3	1.6
	8月20日	10.9	10.0	0.9
	9月20日	11.1	9.9	1.2
	成熟期	11.1	9.9	1.2
分枝数 (本/株)	7月20日	6.2	5.7	0.5
	8月20日	6.3	6.5	▲ 0.2
	9月20日	6.4	6.2	0.2
	成熟期	6.4	6.2	0.2
着莢数 (個/株)	8月20日	90	84	6
	9月20日	87	75	12
	成熟期	87	75	12
子実重 (kg/10a)		432	403	29
同上平年比 (%)		107	100	7
百粒重 (g)		32.1	34.1	▲ 2.0
屑粒率 (%)		1.5	1.5	0.0
検査等級 (等)		2中	2中	-

注1) 平年値は前7か年中、平成27年(最豊年)、令和3年(最凶年)を除く5か年の平均値。

2) △は平年より“早”を、▲は平年より“減”を示す。

5) 小豆 平年並

事由：播種は平年並の5月24日に行った。出芽期は平年より1日遅く、6月下旬以降、気温は高温傾向で推移したことから、主茎長が長く、本葉数、分枝数は平年より多く推移した。8月8日から9日にかけての豪雨により倒伏が発生し、その後の降雨と風により8月中旬には全倒伏となった。開花期は平年より3日早く、成熟期は平年より7日早かった。8月中旬以降の低温により落莢は多かったが、分枝数は平年よりやや多く、着莢数は平年をやや上回った。百粒重は平年よりやや軽く、子実重は平年比102%であった。屑粒率は平年をやや上回り、検査等級は1等であった。

したがって、本年の作況は「平年並」である。

表8 小豆の生育および収量

品 種 名		エリモシヨウズ		
項 目 / 年 次		本年	平年	比較
播種期 (月.日)		5.24	5.24	0
出芽期 (月.日)		6.10	6.09	1
開花期 (月.日)		7.22	7.25	△ 3
成熟期 (月.日)		9.09	9.16	△ 7
主茎長 (cm)	6月20日	4.9	4.2	0.7
	7月20日	31.6	21.6	10.0
	8月20日	66.1	65.0	1.1
	成熟期	75	71	4.0
本葉数 (枚)	6月20日	0.3	0.9	▲ 0.6
	7月20日	8.5	7.4	1.1
	8月20日	12.4	11.9	0.5
主茎節数 (節)	成熟期	14.1	13.5	0.6
分枝数 (本/株)	7月20日	6.9	5.3	1.6
	8月20日	7.2	5.9	1.3
	成熟期	6.8	6.2	0.6
着莢数 (個/株)	8月20日	83	57	26
	成熟期	61	55	6
子実重 (kg/10a)		371	364	7
同上平年比 (%)		102	100	2
百粒重 (g)		13.4	14.3	▲ 0.9
屑粒率 (%)		8.1	3.1	5.0
検査等級 (等)		1	2下	-

注1) 平年値は前7か年中、平成29年（最豊年）、令和3年（最凶年）を除く5か年の平均値。

2) △は平年より“早”、▲は平年より“減”を示す。



6) ばれいしょ 良

事由：植付けは、平年より1日遅い5月10日に行った。6月上旬に低温があったものの、萌芽期は平年より1日早かった。7月中旬までは概して高温傾向で推移し、降雨も適度であったことから、茎長はほぼ平年並で、開花始は平年より1日早く、枯凋期は平年より6日早かった。上いも数は平年よりやや多く、上いもの平均重が平年並で、上いも収量が平年比107%であった。中以上いも収量は平年比121%、規格内いも重が平年比129%と平年を上回った。でん粉価は平年を1.8ポイント上回った。

したがって、本年の作況は「良」である。

表9 ばれいしょの生育および収量

品 種 名		男爵薯		
項 目 / 年次		本 年	平 年	比 較
植付期 (月.日)		5.10	5.09	1
萌芽期 (月.日)		5.27	5.28	△ 1
開花始 (月.日)		6.23	6.24	△ 1
枯凋期 (月.日)		8.22	8.28	△ 6
茎長 (cm)	6月20日	36.8	32.8	4.0
	7月20日	48.8	48.4	0.4
上いも数 (個/株)	7月20日	10.1	9.0	1.1
	8月20日	12.8	10.2	2.6
上いもの平均重 (g)	7月20日	78	74	4
	8月20日	92	102	▲ 10
上いも収量 (kg/10a)	7月20日	3480	2905	575
	8月20日	5252	4586	666
でん粉価 (%)	7月20日	15.6	14.5	1.1
	8月20日	16.4	14.9	1.5
収 穫 期	上いも数 (個/株)	11.1	10.4	0.7
	上いもの平均重 (g)	103	104	▲ 1
	上いも収量 (kg/10a)	5084	4744	340
	同上平年比 (%)	107	100	7
	中以上いも収量 (kg/10a)	5125	4249	876
	同上平年比 (%)	121	100	21
	規格内いも収量 (kg/10a)	5027	3884	1143
	同上平年比 (%)	129	100	29
	でん粉価 (%)	16.2	14.4	1.8

注1) 平年値は前7か年中、平成28年(最豊年)、平成30年(最凶年)を除く5か年の平均値。

注2) △は平年より“早”、▲は平年より“減”を示す。